



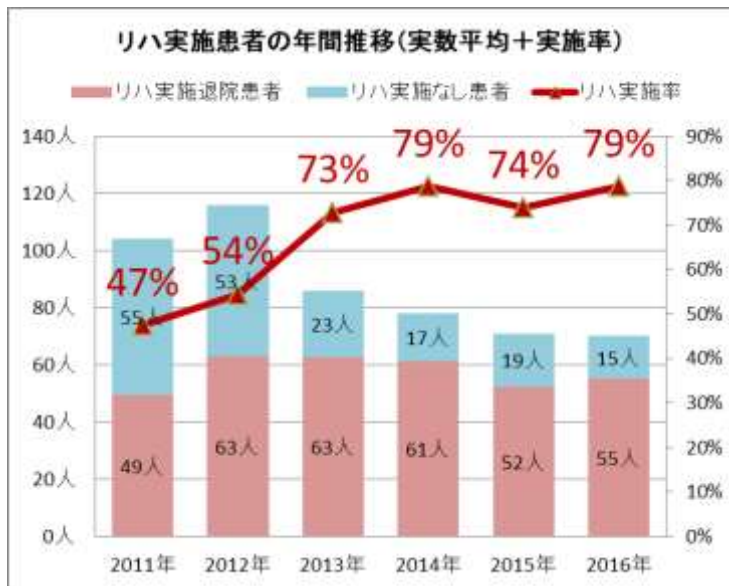
## 入院患者のリハビリテーション実施率

入院の退院患者の内、リハビリを実施した患者の割合です。

2013年以降70%を超えており、他院と比較しても非常に高い値です。

また、2014年10月より一般病棟から回復期リハビリ病棟44床へ転換し、更なるリハビリテーションの充実を行ってきました。

昨年は回復期リハビリテーション病棟患者のリハビリテーション充実に力を注ぎ、結果として急性期一般病棟の患者のリハビリテーション実施率が低下しましたが、リハビリ職員を増員し、更なるリハビリ提供体制の充実をはかった事で、リハビリ実施率は79%に上がりました。



急性期一般病棟の患者のリハビリテーション実施率が低下しましたが、リハビリ職員を増員し、更なるリハビリ提供体制の充実をはかった事で、リハビリ実施率は79%に上がりました。

### 入院患者のリハビリテーション実施率

分子	内、リハビリを実施した患者
分母	入院期間4日以上以上の退院患者
表示	月平均

一般急性期病棟において、入院早期からリハビリ介入を行う事は、安静に伴う廃用症候群の進行を予防し、効果的な機能回復につながります。当院での急性期

一般病棟での入院からリハビリ開始までの平均経過日数をみると、2015年多くなった状況から本年は大幅に短縮し、早期リハビリを提供できていることがわかります。

今後との患者様で適切にリハビリを提供していくよう努めていきます。

